

中山間地域における販売方法を想定したブルーベリーの品種構成

【要約】ブルーベリーでは、市場出荷を想定する場合には早生：中性：晩生種の品種構成を8：2：0に、直売所を想定する場合には2：2：6、観光摘み取り園を想定する場合には0：0：10とすることで、それぞれ目標とする出荷時期に生産が可能である。

中山間農業技術研究所 中津川分室

【連絡先】0573-68-2036

【背景・ねらい】

果樹類の中でも最近人気が高く需要の伸びが期待される小果樹、ブルーベリーの県内中山間地域における特性を明らかにし、販売方法に適応した生産体系を組み立てる。

【成果の内容・特徴】

- 1 ハイブッシュ系のうち、早生品種では「スパルタン」が、中生品種では「ブルークロップ」「ブルーレイ」「デキシー」が有望である。ラビットアイ系の晩生品種では「ウッダード」「ホームベル」が有望である（表1）。
- 2 ブルーベリーの東濃地域の地場市場（東濃東地方市場）における単価（2003年度）は6月に3,000円/kgを超えるが、7月以降は1,000円/kg前後の単価である（図1）。
- 3 市場出荷を想定する場合には6月中の出荷量を増やすため、品種構成は早生：中生：晩生を8：2：0とする（図2）。
- 4 直売所を想定する場合には6～8月まで安定した出荷を行うため品種構成を2：2：6とする（図2）。
- 5 観光摘み取り園を想定する場合には夏休み中（7月下旬～8月下旬）の生産を増やすため、品種構成を0：0：10とする（図2）。

【成果の活用面・留意点】

- 1 栽培を計画する場合には販売方法（市場出荷・直売・観光摘み取り園等）を予め検討し、品種構成を決定する。
- 2 想定した品種構成は標高400m前後の中山間地域に適する。
- 3 品種の早晩性は地域の気象条件等により異なるため注意が必要である。

[具体的データ]

表1 ブルーベリー品種の生育期および収量、栽培適地 (1999~2003)

品種名	開花期		収穫期		健全果収量* 1果重 (g)	栽培適地の年平均気温()
	始	終	始	終		
早生(ハイブッシュ系)						
スパルタン	4/20	5/13	6/12	7/18	1010	2.5
中生(ハイブッシュ系)						
ブルーレイ	4/23	5/14	6/17	8/ 1	1830	1.8
ブルークローブ	4/22	5/12	6/20	8/ 4	1886	1.5
デキシー	4/22	5/14	6/20	8/10	1677	1.4
晩生(ラビットアイ系)						
ウッダード	4/25	5/18	7/12	8/30	1165	1.0
ホームベル	4/27	5/18	7/21	9/ 5	1009	0.8

値は5ヶ年の平均値

*健全果収量は1樹当たり

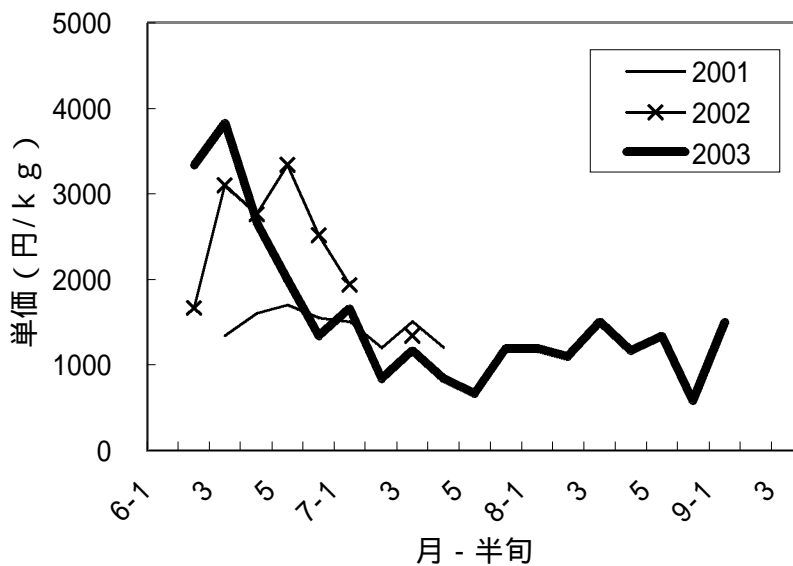


図1 東濃地域の地場市場における単価の推移

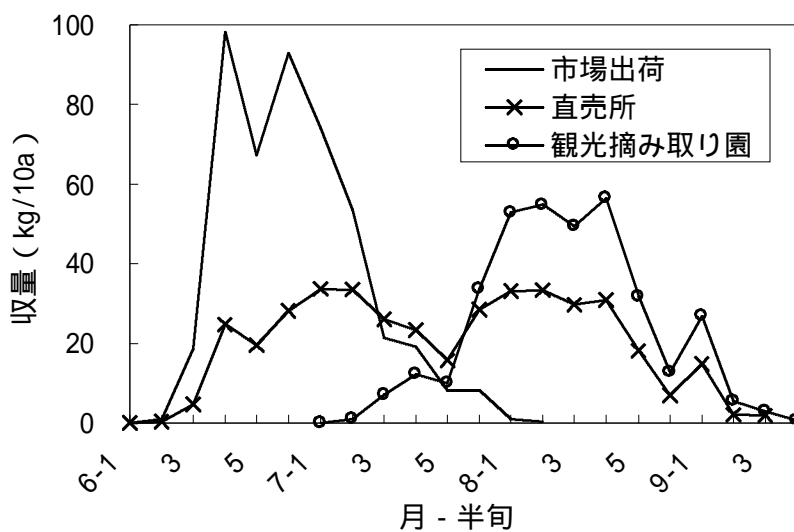


図2 各販売方法を想定した時期別収量